

KIDS CAN!

キッズ・キャン!

No.38

特集：フィリピン学校建設事業スタート



もくじ

フィリピン学校建設事業スタート ... P2

チョコレートプロジェクト報告、インド・フィリピン支援地報告 ... P3

出張講演、会計報告 ... P4

2013 年 11 月にフィリピンを直撃した超大型台風 30 号「ハイヤン」により、中部のレイテ島をはじめ、現地では死者約 6,000 人、負傷者約 18,000 人、行方不明者約 1,600 人、避難生活を強いられている家族が 7 万世帯以上にのぼるなど甚大な被害が出ました。

その後も大型台風がフィリピンを何度も襲い、被害を受けた地域では家屋や学校の校舎などの復旧、地域の復興には時間がかかっています。

そんな台風被害を受けた地域の一つ、フィリピンのビサヤ諸島にあるレイテ島（レイテ州）の北西部に位置するオルモック市内にある「ラブラドル地区」の公立小学校では、教室が足りず、子どもたちが困っていることが分かりました。自治体では度重なる台風被害で学校建設を実施するための資金の確保ができずにいました。ラブラドル地区には、250 世帯、約 1500 人が住んでおり、住民は主に米やとうきびなどの農業や畜産業、自営業（商店）等で生計を維持しています。

こういった背景から、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、自治体と協力して、ラブラドル地区の小学校に教室を増設することになりました。

建設するにあたって、約 300 万円の費用が必要となり、クラウドファンディングサイト Readyfor にて資金調達を行い、たくさんの方々にご支援いただき、また助成金もいただくことができました。桃山学院高校 School By School (SBS) というクラブからは生徒さんによる何年にも渡る募金活動で集めた 185 万円のご寄付をいただきました。その他学校や、FTJ グループやメンバーからたくさんのご寄付が寄せられ、目標の 300 万円が集まり、2016 年から学校建設に向けた活動をスタートすることができました。

ご協力下さった個人の皆様をはじめ、学校関係者の皆さま、あんのん基金様、あたたかいご支援心より感謝申し上げます。

先日現地より感謝の手紙が届きましたのでご紹介させていただきます。

フィリピン小学校建設事業にご支援・ご協力いただいたみなさまへ

フィリピンでは大きな災害に見舞われていますが、私たちは元気です。復興が追いついていない部分もありますが、たくさんの方々の支援のおかげで、いろんな困難や問題も乗り越えていけるだろうと信じています。

2015 年 12 月、私たちはこれまでの苦労も軽くなるような、とても素敵なクリスマスプレゼントをもらいました。それは、バリオン小学校の教室を建設できるようになったというニュースでした。

そのニュースを聞いてから、新しい教室や、その中で楽しく勉強する子どもたちの様子が目に浮かび、それはとても微笑ましい光景でした。新しく教室ができることで、子どもたちは勉強を続けることができ、それはとても大きな支援となっています。

みなさまのご支援に、コミュニティの住民、バリオン小学校に通う子どもたち、そして子どもたちの保護者一同とても感謝しています。私たちのコミュニティに明るい希望が増えました。

バリオン小学校建設事業にご支援・ご協力くださり、本当にありがとうございました。心からの感謝を込めて。

バリオン小学校教職員一同、児童、保護者、コミュニティ住民一同

子ども活動応援事業報告：チョコレートプロジェクト報告

チョコレートプロジェクトとは



チョコレートを通して子どもメンバーが世界を変えることに挑戦するプロジェクトです。

中高生が主体となってプロジェクトの企画からパッケージデザイン、パッキング作業、販売、プレスリリース作成などを行います。

菓子メーカーの千鳥屋から提供していただいたチョコレートを使い、『Amani』という商品として販売し支援先に寄付をします。

昨年に引き続き今年も、ケニアのマサイ族のお母さんの自立支援のために寄付することが決定しました。

販売に向けてパッキング！



2015年10月からメンバーを募集。集まったメンバーで寄付付きチョコレートの商品パッケージや価格、デザインを決め、年末からパッキングを開始しました！たくさんのボランティアさんにもご協力いただき、たくさん商品をパッキングできました。

パッキングや販売でたくさんの方々にご協力いただきました！



ロバートハーフジャパン株式会社

2015年12月11日、ロバートハーフジャパンのみなさまにご協力いただき、オフィスでチョコレートパッキングのボランティアを実施し、中学生メンバーが説明やパッキングを社員の方々と一緒に行いました。

パッキングのあとはチョコレートをご購入くださる社員さんもたくさんいました。

ロバートハーフジャパンのみなさま、ご支援ご協力ありがとうございました！



株式会社プランタン銀座

バレンタイン期間の1月末から、プランタン銀座本館催物会場と地下2階にて、商品の設置をしていただきました。

1月31日と2月7日には、メンバーが店頭で販売を行い、2日間で合計448袋販売することができました！

プランタン銀座のみなさま、昨年に引き続き、ご協力いただきありがとうございました！



ソフトバンク株式会社

2016年2月3日、ソフトバンク本社社員食堂のスペースにて、チョコレートの販売を行いました！

高校生メンバーの呼びかけにたくさんの方が足を止めてくださり、合計で151袋販売することができました。

ソフトバンク株式会社のみなさま、チョコレートのご購入並びにこのような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました！

インド CCD 支援

インドの西ベンガル州の子どもたちに対し現地パートナー団体（CCD）を通じて健康向上支援と、教育支援、を実施しました。CCD では、路上や児童労働など極度の貧困状況から子どもを救出し、彼らが生活できるような養護施設「マクタニール」を運営しています。

マクタニールで暮らす子どもたち 22 人に対して、教育支援のために、子どもたちが学校に行けるよう各自に適した学用品（教科書やノート、筆記用具など）と学校での給食を支給して継続して学校に通えるよう支援しました。

マクタニールの子ども達は全員、学年末試験をパスすることができ、次年度進級できることになりました。

学校で美術やレクレーションを通じてより豊かな心身の発達が見られ、文通プログラムに参加している子ども達も、たくさん絵を描いて送ってくれています。



文通プログラムの参加費の一部、そしてご寄附などみなさまのあたたかいご支援によって、マクタニールの子ども達をサポートすることができました。心より感謝申し上げます。

これからも継続して子ども達の支援ができるよう、今後ともご支援どうぞよろしくお願いいたします。



フィリピン中等教育支援

ミンダナオ島北ダバオ州アサンション行政区ビナンシャン村（バラングイ）で、台風の被害にあった子どもたちの教育支援、具体的には教材提供や学校に通うための奨学金支援を実施しました。

これにより、ビナンシャン地区にすむ中等教育に通うべき子どもたちは学校で教育を受けられるようになりました。



*文房具配布の様子（現地スタッフと子どもたち）



*放課後勉強をする子どもたち

文通プログラム参加費の一部、そしていただいたご寄附や助成金によって、フィリピンの子どもたちの教育支援を実施することができました。ご支援いただいたみなさまへ心より感謝申し上げます。

しかし、台風が与えた影響はいまだに大きく、農業で生計を立てている多くの家庭の子どもたちは、家計を助けるため出稼ぎに行くため、中等教育を諦め退学せざるを得ない状況です。

村の道路などのインフラは徐々に修復していているものの、子どもたちや住民への復興支援は引き続き必要だと感じています。一人でも多くの子どもたちが中等学校へ通えるようこれからも事業を行っていきたく思います。

出張講演訪問先 (2015年11月～2016年2月末)

松原市立松原第三中学校、特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ主催世界子どもの日チャリティーウォーク&ラン2015、川崎市立橋高等学校、名古屋市立工芸高等学校、青森県立青森南高校、横浜サイエンスフロンティア高校、神奈川県総合高校、桃山学院中学校高等学校、神奈川県立有馬高校、日本医歯薬専門学校、横浜市立藤の木中学校、桃山学院高校プロビデンスデー



いつも皆様のご寄付・ご支援に心から感謝いたします。

2016年3月末現在の会員数、キッズパワーサポーター登録者数、文通プログラム登録者数、および2015年11月～2016年3月末の寄付金状況、ご寄付いただいた皆さまのご報告をいたします。

正会員 31名
子どもメンバー 499名(新規19名) キッズパワーサポーター 73名(新規5名)
ユースメンバー 977名(新規15名) 文通プログラム 22名(新規1名)

【寄付金状況】2015年11月～2016年2月末
寄付金合計

8,945,712 円

2015年度 4月～12月 (※9カ月分)

目標 8,761,650 円

実績 10,433,070 円 達成率 119%

2016年度 1月～2月末 (※1月～12月に会期変更)

目標: 10,794,000 円

実績 3,068,544 円 達成率 28%

【ご寄付いただいた皆様】(敬称略・順不同) ※11月～2月末日現在、ご寄付・決済いただきました方々です。

■個人様

土橋傑、モリナカサダハル、水間通夫、向山エイ子、吉川祐一、鈴木喜久枝、増田竜介、野村春雄、平井正子、温井史朗、佐光紀子、小原華子、金井伸二、角田俊樹、吉田凜、原菜央、岡留蓮太郎、永水秀一、水沼正一、鈴木春樹、朝日健、他匿名数名

■団体様

加藤学園暁秀高等学校、加藤学園暁秀中学校高等学校図書委員会、守山市立守山北中学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、横浜雙葉高等学校、明治学院高等学校、神奈川県立大和西高等学校、桃山学院高等学校スクールバイスクール、厚木幼稚園、神戸女学院中学部・高等学部、日本バプテスト厚木教会、国際協力NGOセンター、かみひとねっとわーく京都、他

【キッズパワーサポーターご登録者様】

西野由佳、大須賀康弘、古池貴子、平田由里江、菱木信介、中田悠志、おおふねりな、柳平涼子、黒木武将、姫野亜紀子、小林浩、薄井夏歩、佐々木茜、坂下左知子、松浦宏則、伊藤菜々美、成田英理子、河崎光佑、松井鈴果、長束裕子、福井雄一、三枝享祐、石川祥子、温井志朗、藤谷正一、瀬戸口由子、FabienPapineau、荻原麻里子、多田聡、中山祐之、浅田忠久、野村淳子、瀬川啓介、川島三千代、小谷野嘉幸、小川美香、山川優紀、牧野進一郎、座間博、吉野麻衣子、松本信子、上村祐太、菅原哲也、菅原弘美、宮下敏也、谷明子、成田絵美、前田ひろみ、原田幸子、原田美穂、小袋俊一郎、安藤佐知子、町井利子、木村三郎、杉田真由佳、今井彩水、平岡尚子、青木英俊、藤原一尊、C.A.、有賀江利子、大山美穂子、後藤健人、鈴木舞、高橋みどり、永田章、株式会社ワイズ・インフィニティ、合同会社ケーエスエムインターナショナル、他匿名数名

※クレジットカードは決済システムの都合上、入金を確認するのに2か月ほど時間を要するため、名前が反映されていない場合があります。その場合は次号のニュースレターで名前を掲載させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン / Free The Children Japan

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、子ども・若者の力を育てる国際協力NGOです。

FREE THE CHILDREN

国際協力マガジン

『キッズ★キャン!』2016年3月発行

●発行元 認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 安藤ビル 3F

03-6321-8948

03-6323-6504

info@ftcj.com

http://www.ftcj.com



Free The Children Japan で検索!